

平成 29 年度 事業計画

活動の目的	弥生が丘地内のさまざまな地域課題の解決と地域資源の活用をめざして、三田市との協働のもと、多世代・地域間交流の場の拡充や地域情報活動の円滑化を図る。本年度は、昨年度と同様に構成団体間の更なる連携の強化を図りつつ、地域住民と活動団体が一体となり、多世代・地域間交流事業を核とし、益々コミュニケーションの輪を広げることを重視した活動を行い「安心・安全」で「住みよいまちづくり」を目的とする。
活動の内容	<u>I. 主催事業</u> 1) 協議会の組織づくりとして定例役員会を 2 カ月に 1 回開催、また自治会を中心にボランティアグループ (VoSu841) の協力を得ることによって充実した事業の推進を図る。 2) 事務員 3 名の雇用を継続し、各参画団体並びにコミセンスタッフが抱える事務的業務を更に事務員へ移管していく。 3) AED のコミセン内の設置を継続する。 <u>II. 共催事業</u> 1) 多世代交流バス旅行も念頭に置きながら、交流事業の拡大を検討する。まず、市所有空き地の利活用については、利用可能な状態に整備し地域住民の憩いの場を速やかに提供する。 2) 「いきいき百歳体操」、「ニュースポーツ」および「とんど焼き」等の交流事業を継続して行う。 <u>III. 支援事業</u> 1) 地域交流・多世代交流事業として、「カフェやよい」の継続営業。 2) 高齢者に対する支援活動(まごの手活動)グループの立ち上げ。 3) 夏祭り時の模擬店で使用する機材レンタル費の補助。
活動の工夫	<u>I-1)</u> 定例役員会を適宜開催し、自治会を中心としたボランティアグループ (VoSu841) の協力を得ながら組織づくり及び活動計画の策定を検討する。 <u>I-2)</u> 各参画団体が抱える事務的業務を調査し、事務員への移管が可能な業務を整理する。 <u>II-1)</u> 市所有空き地の利活用については、利用可能な状態に整備し地域住民の憩いの場を速やかに提供する。また、花壇等の整備も併せて行う。 <u>III-1)</u> 安定した運営の体力がつくまで会場使用料を支援し、運営方法などは聞き取りやアンケート等により充実を図る。また、オープンレンジの購入によりスタッフを交えて新規提供品を考えている。 <u>III-2)</u> 平成 30 年度の活動为目标に、自治会ボランティアグループを中心として平成 29 年度に「まごの手養成講座」を複数回開催する。 <u>III-3)</u> 毎年 8 月末に自治会主催で行っている夏祭りであるが、「弥生まちづくり協議会」の周知を行う。